

ネブラスカ州：小麦作柄と気象状況

2005年6月21日

2005年6月19日現在：

6月19日に終わる1週間のネブラスカ州の気象は、州中部から西部では湿潤、東部は乾燥であった。気温はNW(Panhandle)地区では、平年より多少高目であったが、他の地区での平均気温は平年を1~2度F下回った。NW地区の最高気温は85~91度F、SW地区では87~89度Fであった。1週間の降水量はNW地区では2.50インチを超えた観測所が多かった。SW地区では0.05~0.85インチ、NE地区では殆どゼロであった。

1週間の州平均農作業稼働日数は5.3日(前週:2.9日)となった。土壌水分は、Topsoilでは“過剰”が減少し“適”が増加した。Subsoilの“適”は多少落ちたが、79%が“適”であった。平年より極めて良い。

冬小麦の99%が出穂し、46%が登熟期に入った。全体の1%が完熟した。収穫は未だ開始されなかった。昨年は1%、5年平均では2%が収穫されていた。天候不順の為、成熟は昨年並びに5年平均より大幅に遅れる結果となった。作柄は前週より多少評価が落ちた。

6月1日USDA発表の6月1日付け冬小麦生産量予想では、単位収量は43.0bushels/acrであり、5月1日予想より2.0bu/ac少なくなった。登熟期に入ってから連続した低温・湿潤がマイナス要因となったと思える。詳細は別表の通り。

2005年4月1日~6月19日の降水量：

	NW	NC	NE	CEN	EC	SW	SC	SE
This week	1.91	0.59	0.01	0.19	0.07	0.57	0.55	0.17
Total since 1/4/05	9.92	14.74	12.16	11.48	10.44	8.02	9.11	9.73
Normal since 1/4	6.63	7.69	9.10	8.58	9.54	7.46	8.30	9.56
Total as % of normal	150%	192%	134%	133%	109%	107%	110%	101%

土壌水分：2005年6月19日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Ave.
Topsoil				
Very Short (%)	0	0	14	19
Short (%)	7	3	22	27
Adequate (%)	86	81	58	51
Surplus (%)	7	16	6	3
Subsoil				
Very Short (%)	5	2	34	25
Short (%)	15	14	26	30
Adequate (%)	79	81	39	45
Surplus (%)	1	3	1	0

小麦の生育状況：2005年6月19日現在

	This Week	Last Week	Last year	5-Yr Ave.

Headed (%)	99	20	76	61
Turning (%)	46	20	76	61
Harvested (%)	0	0	1	2

小麦作柄状況：2005年6月19日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	7	14	37	35	7
Last week (%)	7	16	33	36	8

Source: Nebraska Agriculture Statistics Service, USDA

6月1日付けUSDA冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
May 1				June 1			
NE	1,650	1,700	37.0	45.0	43.0	61,050	73,100
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	44.1	1,499,434	1,545,971

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃：Email ogawa.max@omicnet.com